

品人 店技

ファイル41 取材日 H22.9.13



横手運送株式会社

横手市卸町8-14
TEL:02-3667 FAX:02-5672
創業 昭和26年2月5日【従業員】298名
【営業時間】24時間
【定休日】なし
【事業内容】総合物流サービス業

プロフィール
しお た けん 三
塩田 謙三
役職:代表取締役社長
昭和19年8月14日生まれ
出身地:横手市
趣味:楽器演奏(リバスクリネット)



「Yokohama」のロゴマークでおなじみのトラック。もう横手市では老舗の運送会社です。今回は特別編として、創業百三十周年を目前に控えた横手運送(株)代表取締役社長で、横手商工会議所副会頭の塩田謙三氏にお話を伺いました。

お邪魔します。何回か伺ったことはありますが社長室に入ったのは初めてです。みずばらしい社長室でしょ(笑)現場で働く車やトラックはピカピカにするところにはあまり無頓着なんです。壁の掛け軸も先代から20年間そのままなんですよ(笑)

今年は創業130年、会社設立60周年の記念すべき年だそうですね。業界のなかでも屈指の歴史を誇ると聞きましたが、創業当時はどんな様子だったんですか。

創業は明治14年です。当時は今の中前郷で事業を営んでいました。初代は私の曾祖父で、主に米や野菜、果物などの第一次産品や石炭坑山関係の火薬等、地場産業の輸送をしていました。このときは雄物川を利用した水運でした。

その後三代目儀三郎の父が「塩田運送店」の代表となりました。もちろん当時はトラックなんてない時代ですから、馬車や荷車で運んでいたんですよ。

馬?想像できない...

馬や牛はもうそこらじゅうにいました(笑)。当時は貴重な労働力だったんですよ。

(ここで、目下作成中の創業130年記念誌の原稿を見せていただきました)

こうしてみると、横手運送というよりは、塩田家の歴史なんです。

まさにそう。わが社の半分は塩田家の歴史といふことですね。

なるほど。では塩田社長の歴史についても伺いたいのですが。

まだはっきりは決まっていますませんが、シヨスタコーピッチかな?

シヨ...。そうですね(クラッシックには門外漢のスタッフ。)

では最後に、今後の横手運送さんの展開について教えてください。

目指すのは、東北オンリーワンの総合サービス企業です。そのためには、単に「物流」という枠だけにとどまらず、物流を基盤とするサービスとしての地位を確立することが重要だと思っています。かっこ良く言うと、わが社の競争相手は同業他社ではなく「時代の流れと環境の変



吹奏楽団でバスクリネットを演奏

それまではどんな仕事をしていたんですか?
横手運送の部門で丸運自動車工場の工場長をしていました。2級整備士の資格も持っているんですよ。
そういう資格もお持ちだったんですね!?(意外)
大学を出た後に秋田のディーラーに2年間修行に行って、その後昭和43年に正式に横手運送に入社しました。整備工場にいた時には、事故が起った時の保険の「物損アシスター」という仕事に10年間携わりました。
まさに三足のわらじですね。
だからこんなお調子者になったんですよ(笑)。でも、そこで保険の知識が

いやいや、平(ヒラ)の団員です(笑)でも、いろんなメンバーがいる中で、若い子たちと一緒に一つ一つの曲を完成させるのは本当に楽しい。若いエキスをそこで吸収するんです(笑)。生涯を通じて打ちこめる趣味を持っていることは本当に幸せです。ライフワークという言葉がありますが、私にとって吹奏楽は「ライフ・ホビー」ですね(笑)。一生ものです。今の若い人たちにもそんな生涯にわたって打ちこめる「ライフ・ホビー」を是非持ってもらいたいです。11月には、恒例の定期演奏会があるんですよ。
どんな楽曲を演奏するんですか?



説明を受ける事務局



看板を見る3人

本日は学校の先生を目指していたんです。横浜の大学で日本史を専攻していた、横手城南高校で教育実習もしたんですよ。教科書に載っていない歴史の話もしたりして、あの時はかなりモチベーション(笑)。他県で就職につく予定でしたが、やはり秋田に戻ってこいと言われ、教師を断念しました。私の兄が平成元年に急逝し、45歳のときに横手運送の経営に携わりました。



設立当時の横手運送(株)

様々な経歴をお持ちの塩田社長。終始笑いの絶えない、和やかなインタビューとなりました。これからも幅広い分野での活躍を期待しております。どうもありがとうございました。

【告知】
横手吹奏楽団
第38回定期演奏会
日時:11月21日(日)
午後2時
会場:横手市民会館

地元消費で会員事業所に活力を!